

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	歴史Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0037		科目区分	一般 / 必修	
授業形態			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	生産デザイン工学科 (電気電子コース)		対象学年	2	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	『明解 歴史総合』 (帝国書院、2022年)、『明解歴史総合図説 シンフォニア』 (帝国書院、2022年)。				
担当教員	大熊 智之				
到達目標					
1. 帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。 2. 第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。 3. 19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要をおおむね理解している。	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程についての理解が十分でない。		
評価項目2	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要についておおむね理解している。	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向についての理解が十分でない。		
評価項目3	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、おおむね理解している。	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係についての理解が十分でない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 E① 歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。 学習・教育到達度目標 F① 歴史・文化・社会に関する基礎的な知識を身に付ける。					
教育方法等					
概要	皆さんはこれからさまざまな形で社会とかかわっていくことでしょう。その際には、自分自身が歴史のなかに生きているという感覚を持っていることが大切です。歴史を学ぶことで、現代社会が、そして自分自身の行動や考えが、いかに歴史的な条件に規定されているかを実感してもらえたらと思います。同時に、過去の人びとが、その人の生きた時代的な条件とどのように向き合い、それと格闘してきたのかを、その経験に寄り添いながら学んでほしいと思います。そうすることで、自分自身の日々の営みが社会を変え、歴史を作り出すという感覚を持ち、主体的に社会に参画することができると思うからです。この講義を通して、ぜひそのような感覚を身につけ、現代社会のかかえる条件に気づき、よりよい未来について考える力を養ってほしいと思います。				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> 教科書・ノート・図説を毎回準備すること。 本講義と関連する時事の話題を適宜紹介する。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ノートには板書されたことだけでなく、それ以外の講義内容を聴き取ってできるだけメモすること。 必要に応じてプリントを配布するのではなくさないようにすること。 現代の日本や世界の動きに対して常に関心を持って授業に参加してください。 				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第一次世界大戦と日本の対応 (1)	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	
		2週	第一次世界大戦と日本の対応 (2)	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	
		3週	国際協調と大衆社会の広がり (1)	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	
		4週	国際協調と大衆社会の広がり (2)	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	
		5週	日本の行方と第二次世界大戦 (1)	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	
		6週	日本の行方と第二次世界大戦 (2)	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	
		7週	再出発する世界と日本 (1)	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	再出発する世界と日本 (2)	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	

		10週	冷戦で揺れる世界と日本（1）	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。
		11週	冷戦で揺れる世界と日本（2）	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。三・一独立運動と五・四運動が起こった経緯について説明できる。
		12週	多極化する世界（1）	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。
		13週	多極化する世界（2）	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。
		14週	グローバル化のなかの世界と日本（1）	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。
		15週	グローバル化のなかの世界と日本（2）	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。
		16週	定期試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識している。	3	後1,後2
				社会における技術者の役割と責任を説明できる。	3	後10,後11
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	

評価割合

	試験	小テスト等	演習・レポート	合計
総合評価割合	70	10	20	100
基礎的能力	70	10	20	100
	0	0	0	0